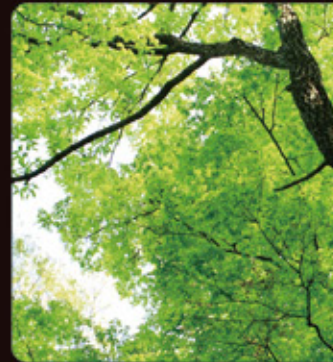




筑波大学
University of Tsukuba



筑波大学
環境ディプロマティックリーダーの
育成拠点



新たな「環境ディプロマティックリーダー」学際プログラム

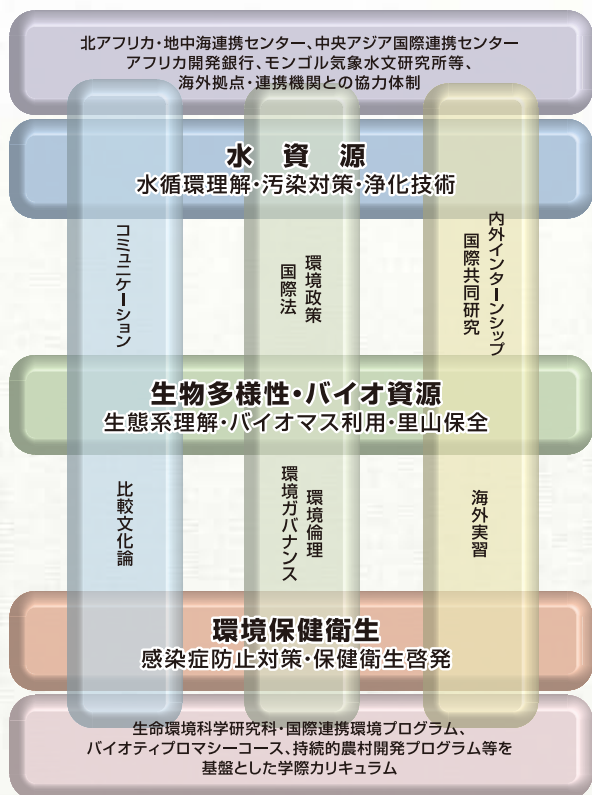
環境ディプロマティックリーダー(EDL)プログラムの理念

世界の環境問題は、自然科学に関する問題だけでなく、人口問題、地域・民族間紛争、貧困、衛生、生態系破壊など各種の問題が密接に関連しています。こうした複雑に絡み合った問題を解決していくには、文化やそれをとりまく環境、経済、政治、社会的要因を十分認識・理解することが求められます。EDLプログラムでは、さまざまなステークホルダーが主体的な役割を担う環境ガバナンスに関わり、国際調和に対応し得る問題解決能力と独創性を涵養し、環境に関わる科学技術に加え、環境政策や倫理、法体系、国際関係、比較文化等の知識・素養を有した人材を育成します。

EDLプログラムを修了される皆さんは、将来国際的環境問題の最前線において、つくば発の新しい「環境ディプロマティックリーダー」として、活躍されることでしょう。

環境ディプロマティックリーダー(EDL)プログラムの重点領域

EDLプログラムでは、アジア・アフリカ地域を重視し、「水資源・水処理技術・水環境政策」、「生物多様性・バイオ資源」、「環境保健衛生」の3分野をカリキュラムの重点領域としています。こうした重点領域を学ぶ意義は、科学技術を習得することだけではありません。国際的な舞台でも円滑な交渉ができる人材を養成するため、コミュニケーション能力、実務能力、外交交渉力強化を、それぞれの重点領域にまたがる共通の習得課題としています。



生物多様性・バイオ資源



水資源



環境保健衛生

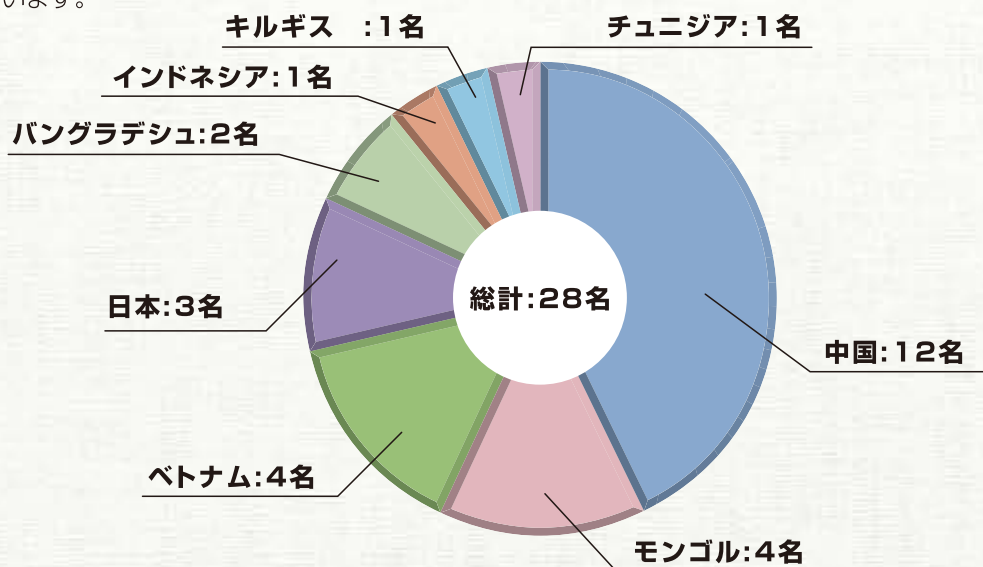
プログラムの実施体制

EDL育成拠点は、筑波大学の既存プログラムに加え、筑波学園都市にあるいくつかの研究機関と、本学の海外拠点・協定機関とで構成されています。これらの研究・教育機関群がタッグを組み、国内外実習、インターンシップ、共同研究などを含んだ教育カリキュラムより「環境ディプロマティックリーダー」を育成します。



多様なEDL候補生

本プログラムは2010年4月からEDL候補生の受け入れを開始しました。2011年3月の段階で28名の学生(修士課程20名、博士課程8名)がEDLプログラムを履修しています。出身国も様々であり、将来、幅広い国際ネットワークにつながる事が期待されています。



EDLカリキュラム

EDLプログラムは、学長のリーダーシップのもと、生命環境科学研究科、人間総合科学研究科、人文社会科学研究科に所属する幅広いスタッフにより運営されています。さらに本学のスタッフと筑波研究学園都市や海外諸機関との連携により、環境関連の技術的な専門知識と、実務・交渉能力を培うバランスのとれたカリキュラムが編成されています。本プログラムの授業は、基本的にすべて英語により実施されます。

修士(環境科学)コースカリキュラム(2年)

修士論文(必修):

環境問題の発生現場を意識した、環境技術の改善や理解など基礎的事項、環境技術に関わる既存対策・政策のレビュー

共通科目: 循環環境学概論、環境共生学概論、環境倫理学概論、環境科学実習、環境科学演習、環境科学特別演習、環境科学特別研究、環境科学実践実習 I - II (国内・海外インターンシップ)、環境科学中期実践実習 I - II (国内・海外インターンシップ)、環境科学長期実践実習(国内・海外インターンシップ)、環境科学特講 I - IV

専門科目: 英語プレゼンテーション・ディベート論、環境政策概論、文化生態原論、国際保健概論、環境ディプロマティックリーダー特講 I - IV、水環境学序論、水総合学、生物資源リサイクル論、森林保全計画論、生物多様性論、予防環境医学、国際法概論、サステナビリティ学概論、環境ガバナンス、環境政策評価論

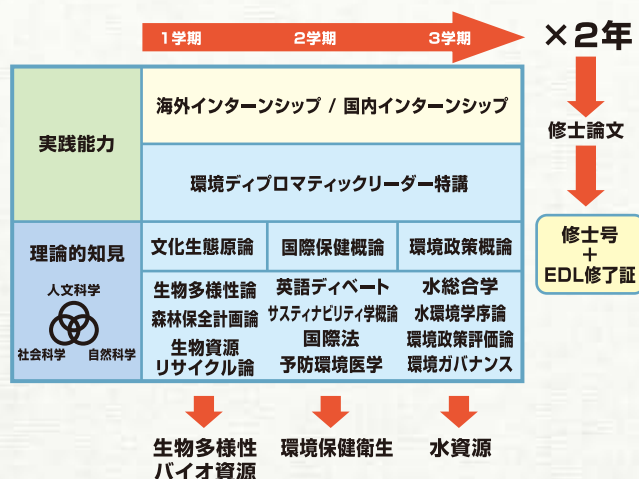
博士(持続環境学)コースカリキュラム(3年)

博士論文(必修): 現地における、環境問題の科学的理解に即した現状解明、問題点の抽出、現地の地理的、文化的、民族的特性に即した改善策の提案、政策立案・提言、管理実務案の策定、評価

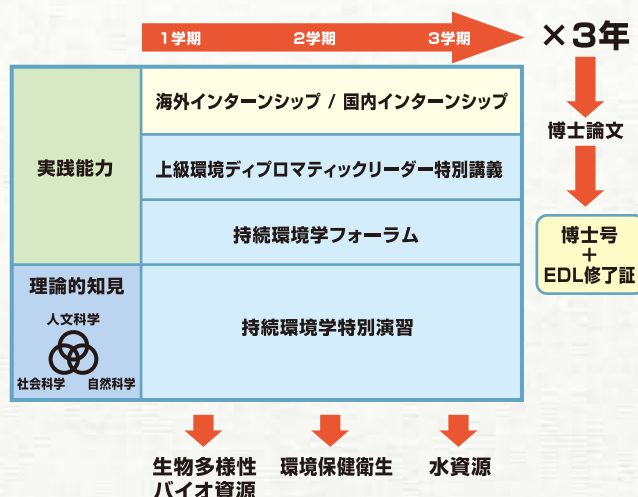
共通科目: 持続環境学特別演習 I - III、持続環境学フォーラム I - III、環境学実践実習(国内・海外インターンシップ)、環境学中期実践実習(国内・海外インターンシップ)

専門科目: 上級環境ディプロマティックリーダー特講 I - IV

修士課程(2年)における履修イメージ



博士課程(3年)における履修イメージ



特色ある取り組み

インターンシップ

百聞は一見に如かず。現実の環境問題を現場で体感することは、環境問題を考察する際の最上の教科書といえます。こうした考えの下、EDLプログラムにおいては、受講生にインターンシップ参加を義務づけています。海外においてはチュニジア共和国およびモンゴル共和国、国内においては熊本県水俣市におけるインターンシップを実施しています。



■ チュニジアインターンシップ



■ モンゴルインターンシップ



■ 水俣インターンシップ

EDL特別講義

EDL特別講義(EDL特講)は外部から著名な研究者・実務家を招き、環境問題の最先端の知見に触れる試みです。ほぼ月に一度のペースで開かれ、幅広い知識の涵養を促しています。これまで地球温暖化問題、膜による水処理技術、メチル水銀の健康影響、人口問題といったテーマを専門とする講師を招き、環境問題の複合性、相互連関性について理解を深めました。

また講演会形式とは別にProject Cycle Management(PCM)を取り入れた参加型の講義も行います。PCMは利害関係者間の対話を通じて、現地の社会問題解決に向けた計画立案を進めることを目的とする手法です。受講生は実際の環境問題解決型プロジェクトの模擬体験を経験し、異なる利害関係者の意見調整、予算や時間が限られた中での対応策の立案といった、環境問題の現場で直面するであろう様々な実践的課題への理解を深めます。



■ EDL特講



■ EDL特講での討論



■ PCMの体験授業

シンポジウム

EDLプログラムでは国際および国内シンポジウムの開催を通じて、英語による報告・質疑応答のスキル向上を目指します。特に海外インターンシップの期間中に現地で開催されるシンポジウムでは現地の研究者も交え活発な意見交換がなされます。



■ 国際シンポジウムでのポスターセッション

EDL cafe

EDLプログラムでは知識の習得はもちろん、学生相互のネットワーク作りを重視しています。それは将来、国際共同研究や仕事上の情報交換の基礎になるためです。こうした目標を実現するためにEDLでは学生主導の集会を定期的で開催しています。そこではジュースを片手にリラックスした雰囲気で行われる様々な時事問題の討論が行われます。



■ EDL cafe

広報活動

EDLではニュースレター(年に4回)やホームページを通じてセミナーや取り組みの活動報告をしています。またE-learning systemを活用し講演を広く公開することもあります。

ホームページ

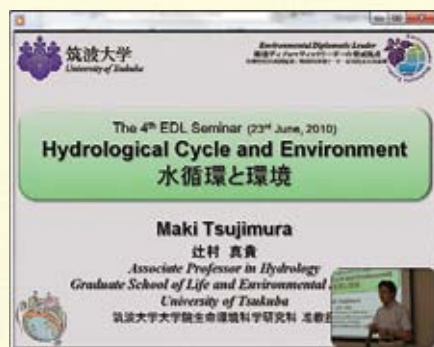


<http://edl.envr.tsukuba.ac.jp/jp/>

ニュースレター



E-learningシステムを用いた講演公開



【EDLの組織メンバー】



山田 信博
筑波大学学長
EDL総括責任者



宮本 邦明 教授
持続環境学専攻長
【所属】生命環境科学研究科
【専門分野】流域管理・防災



辻村 真貴 准教授
EDLプログラムリーダー
【所属】生命環境科学研究科
【専門分野】水循環、水資源



若杉 なおみ 教授
EDL専任教授
【専門分野】感染症、
国際保健(医療)環境健康



遠藤 崇浩 准教授
EDL専任准教授
【専門分野】政治学



孫 暁剛 助教
EDL専任助教
【専門分野】生態人類学、
アフリカ地域研究

杉浦 則夫 教授
【所属】生命環境科学研究科
【専門分野】水資源、水質処理

張 振亜 教授
【所属】生命環境科学研究科
【専門分野】水資源、水質浄化

氷飽 揚四郎 教授
【所属】生命環境科学研究科
【専門分野】環境政策

福島 武彦 教授
【所属】生命環境科学研究科専攻長
【専門分野】水資源、水質形成

増田 美砂 教授
【所属】生命環境科学研究科
【専門分野】環境政策、国際協力、
国際交渉

渡邊 和男 教授
【所属】生命環境科学研究科
留学生センター長
【専門分野】生物多様性、生物資源

渡邊 信 教授
【所属】生命環境科学研究科
【専門分野】生物多様性、バイオ資源

内山 裕夫 教授
【所属】生命環境科学研究科
【専門分野】生物多様性、バイオ資源

野村 暢彦 准教授
【所属】生命環境科学研究科
【専門分野】応用微生物学

木村 武史 准教授
【所属】人文社会科学研究所
【専門分野】国際関係、
サステナビリティ

ダダバエフ・ティムール 准教授
【所属】人文社会科学研究所
【専門分野】国際水利問題、水紛争

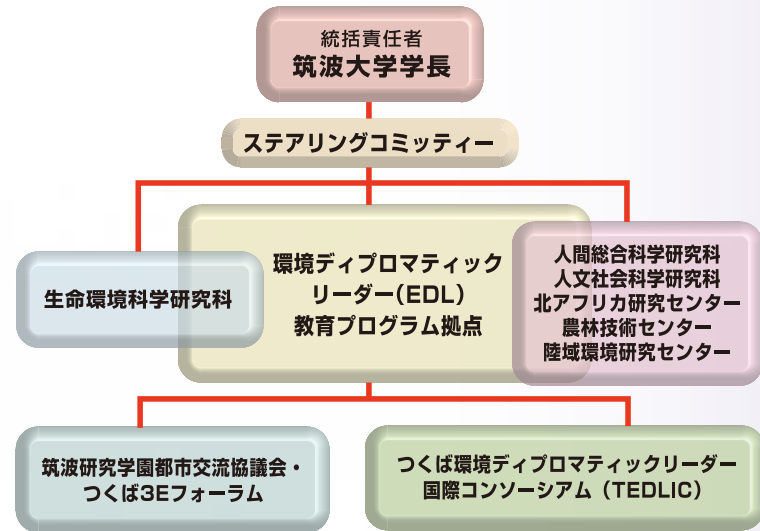
松井 健一 助教
【所属】生命環境科学研究科
【専門分野】環境倫理、国際環境

熊谷 嘉人 教授
【所属】人間総合科学研究科
【専門分野】環境保健衛生

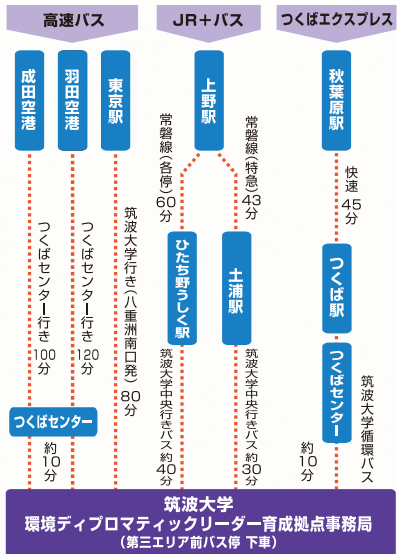
磯田 博子 教授
【所属】生命環境科学研究科
北アフリカ研究センター
【専門分野】生物資源

井上 勲 教授
【所属】生命環境科学研究科
学長補佐
【専門分野】微細藻類の系統解析と分類

■ 組織図



アクセスマップ



筑波大学 環境ディプロマティックリーダー育成拠点事務局

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1
TEL: 029-853-4958
E-mail: edlep@envr.tsukuba.ac.jp
URL: <http://edl.envr.tsukuba.ac.jp/>

